

国土総合開発事業調整費調査 むつ小川原地域漁業開発調査

(要約)

植木 龍夫・仲村 俊毅・尾坂 康・早川 豊・永峰 文洋・鈴木 勝男

むつ小川原開発計画は、地域の主産業である農林水産業の再編成を含みつつ、その振興をはかることを基本に、大規模工業の導入を契機として地域全般にわたる総合的开发を進めると共に、適切な住民対策を実施して、地域住民の生活の安定と向上をはかることを内容とし、昭和50年12月20日第2次基本計画が策定された。

この計画のなかで、水産業については「各漁場の特性を生かした漁業を育成し、その発展をはかる」ことを骨子としているが、この地域の場合、漁業開発の内容は海面と内水面漁業に分れる。このうち海面漁業開発については、水深別に下浅域(100～200m)と上浅域(10～30m)に分け、下浅域では魚礁漁場化を、上浅域では砂浜海岸の磯漁場化の可能性を課題として水産庁の委託を受けて調査検討した。

1 調査期間 昭和52年10月～昭和53年3月

2 調査項目および実施機関

調査名	調査項目名	担当機関および担当者			
1. 漁場環境条件調査					
(1) 生物環境調査	1) プランクトン	水産増殖センター	技 師	尾 坂	康 夫
	2) 底 生 生 物	"	主任研究員	植 木	龍 夫
	3) 潮 間 帯 生 物	"	"	"	"
	4) 卵 稚 仔	"	技 師	早 川	豊
(2) 非生物環境調査	1) 水 質	水産増殖センター	技 師	永 峰	文 洋
	2) 底 質	水産試験場	"	長 津	秀 二
2. 漁業振興基礎調査					
(1) 上浅域漁場開発調査	1) 調査地選定	漁政課	主任主査	三 浦	昇 夫
		水産増殖センター	主任研究員	植 木	龍 夫
	2) 漂 砂	水産増殖センター	技 師	仲 村	俊 毅
	3) 施設設置	漁政課	主任主査	三 浦	昇 夫
	4) 効 果	水産増殖センター	主任研究員	植 木	龍 夫
(2) 下浅域漁場開発調査	1) 海底地形	北大水産学部	教 授	上 野	元 一
			助 教 授	前 田	辰 昭
	2) 調査地選定	水産試験場	講 師	高 橋	豊 美
	3) 施設設置	漁政課	技 師	小田切	讓 二
	4) 標 本 船	水産試験場	主任主査	三 浦	昇 二
	5) 漁 獲 量	"	技 師	小田切	讓 二
		"	主任研究員	青 山	禎 夫
総合とりまとめ		漁政課	資源班長	佐 藤	立 治
		"	振興班長	菅 野	溥 記

詳細は「昭和52年度国土総合開発事業調査費むつ小川原地域漁業開発調査報告書昭和53年3月水産庁」を参照されたい。